



第46号

平成29年5月15日

# むらかみ

市議会だより



## 市民の宝 輝く瞳

猿沢保育園 入園式

(朝日地区)

- 29年度施政方針・予算を代表質問… 2～3ページ
- 市政を問う!! 18人が一般質問…………… 4～13ページ
- 委員会の審査報告…………… 14～16ページ
- 第1回定例会議決結果…………… 17～18ページ
- 常任委員会の閉会中事務調査…………… 19ページ
- 乾杯条例を制定…………… 20ページ

今年度から猿沢保育園と塩野町保育園が統合され、4月4日に初めての入園式が行われました。新たに入園する14人のお友だちを歓迎するため、在園の子どもたちが一緒に練習を重ねてきた歌と踊りを、元気いっぱい披露しました。

# 予算をただす！

## 29年度施政方針・予算を代表質問



3月定例会では、新年度の施政方針・予算案に対し、各会派からの代表議員による「代表質問」を行います。代表質問の質疑時間は、会派所属議員の人数によって、各会派に配分されます。第2次総合計画の計画初年度となる29年度の施政方針と新年度予算に対し、6会派が質疑を行いました。  
新年度予算案に対する委員会審査の主な内容は、14〜16ページをご覧ください。

### 鷲ヶ巢会



板垣一徳議員

**問** スケートパークは本市の将来にとって大変重要な施設になると思うが、その運営についてどのような方針か。

**答** 世界を目指す選手を育成する施設として、また地域に根ざした施設とするため、実績のあるスケートボード連盟のほか、総合型地域スポーツクラブや体育協会とも連携した枠組みによる運営を考えている。

**問** その建設にあたっては、地域経済の活性化へ地産材を最大限使用すべきでないか。

**答** 越後杉ブランドをPRする良い機会であり、豊富で優良な地産材を活用する。

**問** 耐用年数が過ぎて老朽化した水道管への、早急な対策が必要ではないか。

**答** 資産台帳調査を基に年次計画を立て、改修を進める。

(質問時間 53分)

### 新政村上



長谷川孝議員

**問** 今後の人口減少に対応するため、27年から、村上市総合戦略による多方面に及ぶ施策に取り組んでいるが、その成果について伺う。

**答** 総合戦略を通して、本市の農林水産物、伝統・歴史、人材を含めた財のポテンシャル(潜在的な力)が非常に高いことが各分野の取り組みで確信できた。一例を挙げると、産業支援プログラムへの申請が1年間で63件と、過去7年間の補助件数64件に匹敵する申請があり、市場経済の活性化が着実に動き出している。

人口減少は止まらないが、人口減少社会構造の中でどのようなまちづくりを目指すべきか、その道筋を示すことができた。その結果が第2次総合計画、29年度予算につながったものと考えている。

(質問時間 53分)

# 過去最大規模の

## 清流会



川崎健二議員

**問** 過去最大規模329億8千万円の予算編成への思いは。

**答** 合併後、最大規模の予算となったが、人口減少対策への通過点と捉える。これをスタートとして第2次総合計画の中で我々が目指す最終的な成果に結び付けていきたい。

**問** 市長の公約である「市民ひとりひとりの幸せ」を具体化する重要な施策は。

**答** それぞれの生活を豊かにすることが必要。予算に盛り込んだ各施策を通じた各産業や各分野への刺激、生活基盤への支援も必要。長期的な視点でまちづくりに取り組む。

**問** 日本海東北自動車道の延伸について、今後の進捗は。

**答** 大須戸第1トンネル施工に着手する。地元の熱意を失わないよう、体制づくりをしっかりとしたい。

(質問時間 45分)

## 高志会



尾形修平議員

**問** 空き家の解体費助成に関して取り組む考えはあるか。

**答** 空き家・空き倉庫等は毎年増加している。活用できるものは専門家とも協議しながら取り組む。29年度中により効果的な仕組みを作り上げたい。

**問** スケートパーク建設事業は、総事業費17億円かかるが、完成後の運営および利用者数はどのようになっているのか。

**答** まだ、当該施設はスケートボード専用施設として認識してよい。

**問** 建物の詳細設計ができていないため、完成後の維持管理費はまだ検討していない。

**答** 利用者は現在の施設で、月に200人であるので、同程度であると考えている。施設は専用施設である。

(質問時間 33分)

## 日本共産党



竹内喜代嗣議員

**問** 市の契約で働く労働者の賃金を保障する公契約条例について伺う。工事または製造の請負発注は、国土交通省の公共工事設計単価で積算されているか。

**答** 実際、設計しているわけではないが、県の公共工事積算単価に基づく積算である。

**問** 下請け会社で仕事をする労働者の賃金も補償される公契約条例制定の考えは、あるか。

**答** 条例についてメリットデメリットを検証したい。現在は、導入する考えはない。

**問** マイナンバー制度は、ほとんどメリットがないと思うし、個人情報漏えい等の問題が指摘されている。確定申告は、マイナンバーの記載がなくても受理されるか。

**答** 受理する。

(質問時間 33分)

## 市政クラブ



小杉和也議員

**問** 障がい児の居場所サポート事業が新規で始まるが、放課後等デイサービスにおいて利益優先の事業者の事例報告もなされ、厚生労働省は厳格化する方向だ。しっかりと実態を把握し、障がいのある児童が自立した日常生活を営むために必要な訓練やリハビリで、子どもたちの機能を改善する取り組みを行うスタッフ体制整備のため、しっかりと支援すべきだと思いがどうか。

**答** きちんと実態を把握し、障がいを早期発見するために支援をしていきたい。

**問** 中・高校生を対象として医療体験見学会を実施するが、どういった理由からか。

**答** 医師確保のために、医師を目指す子どもたちに学習の意識づけができるような取り組みが重要と考えた。

(質問時間 33分)

# 市政を問う!!

2月24日・27日・28日、3月1日の4日間の日程で行われた一般質問に18人の議員が登壇しました。

質問および答弁の要旨を質問順で掲載します。

一般質問の原稿は、質問者が作成したものを掲載しています。

## 18人が 一般質問

### 1 稲葉久美子議員 5

1. 若者定住促進のための市職員採用について
2. 就学援助について
3. 幼稚園の保育料助成について
4. 地域医療について

### 2 川村敏晴議員 5

1. 本市の森林環境税（仮称）の取組について
2. 小・中学校の部活動支援について
3. 学校教育の中の、日本の領土問題について

### 3 本間善和議員 6

1. 市街地及び高齢者世帯等の火災予防対策について
2. 地域おこし協力隊について

### 4 板垣千代子議員 6

1. 救急車の出動について
2. 今年の除雪の対応について

### 5 平山 耕議員 7

1. 村上市における無電柱化の推進について
2. 平成29年度に改正される「土地改良法」に伴う本市の取組について

### 6 山田 勉議員 7

1. スポーツ団体への支援について
2. 基金及び地方債の状況について
3. 本市の奨学金制度について

### 7 本間清人議員 8

1. 観光戦略について
2. 農林水産業や中小企業の支援について
3. 羽越本線の高速化について

### 8 河村幸雄議員 8

1. 総合的な防災対策の推進と防災力の充実について
2. ふるさと納税の制度の拡充と戦略の検討について

### 9 姫路 敏議員 9

1. 平成28年6月定例会以降の一般質問を行った内容について
2. 村上市の産業支援政策について
3. 子育て支援について

### 10 鈴木いせ子議員 9

1. 村上総合病院の移転新築の進展について
2. 小学校の統合による受け入れる校舎の現状について

### 11 鈴木好彦議員 10

1. 災害対策について
2. 通学路の安全性の確保について
3. プレミアム付き商品券発行事業補助金について

### 12 大滝久志議員 10

1. 農業政策について
2. 林業の活性化について
3. 不登校について

### 13 佐藤重陽議員 11

1. 大町・小町通り（泉町羽黒町線）のまちづくりについて

### 14 小田信人議員 11

1. 林業振興について
2. 第1次総合計画で未着手な事業について
3. 公共事業の配分について

### 15 長谷川 孝議員 12

1. 医師確保について
2. 村上市にある施設の老朽化について
3. 側溝蓋の改修及び軽量化について

### 16 渡辺 昌議員 12

1. 人事評価制度及び職員定員適正化計画について
2. 市民協働のまちづくり事業について
3. 消防水利について

### 17 木村貞雄議員 13

1. 農業問題と今後の米政策の見直しに伴う市の対応について
2. 人口減少対策と婚活事業について
3. いじめと不登校問題について
4. 岩船沖洋上風力発電事業について

### 18 竹内喜代嗣議員 13

1. 市の基幹産業である農業振興について
2. 県の地域医療構想と現状について
3. 下水道料金の統合について
4. 村上駅と坂町駅の利便性向上について
5. 子育て支援の現状について
6. 公共施設統合について
7. 子どもの貧困解決について
8. 神林地区堀川浸水想定について

※紙面の都合で質疑内容の一部を掲載しています。詳しくは、中央図書館に備え付けの会議録や市ホームページから本会議の録画中継をご覧ください。

# 若者が希望を持てる村上市に



稲葉久美子 議員

**問** 市職員の採用を拡充し、若者が安心して戻って来られる村上市にしてほしいが。

**答** 27年4月1日現在の職員定数760人を基本に790人までの範囲で対応する33年度までの定員適正計画を、昨年12月に策定している。採用は計画の範囲内で柔軟に対応していく。

**問** 指定管理者制度における保育園と学童保育所の業務と人件費は。

**答** 業務は市立保育園の運営と同じ。また、人件費については指定管理者の裁量によるものである。

**問** 学童保育・児童館指導員の待遇改善は。

**答** 非常勤特別職として

雇用している。今後業務の専門性や勤務時間等も考慮した上で処遇の見直しを検討する。

**問** 就学援助の入学準備金が国の予算で倍増されそうだが、市の対応は。

**答** 文部科学省から通知あり、国の予算可決後、速やかに補正予算で対応する。

**問** 幼稚園の保育料について、保育園と同様に、助成により減額された後の保育料の支払いにはどうか。

**答** 市からは幼稚園就園奨励費補助金を幼稚園に交付している。幼稚園の保育料の徴収事務は、幼稚園の裁量に委ねられている。

**問** 村上市が含まれている縦長で広い地域である下越医療圏の設定見直しを県に強く要望してはどうか。

**答** 下越圏域の医療資源の重要性を県に要望していく。



子どもたちが喜んで遊ぶ園庭



昨年の全国森林環境税創設促進議員連盟第23回定期総会の様子(岐阜県高山市)

**問** 市長もかねてより、地方林業の起爆剤となる森林環境税(仮称)の成立を目指し、その実現があと一歩まで来た今、今度は村上市長として、同制度の創設促進に向け県内首長をリードしていくべきと思うがいかがか。

**答** もちろん自分がやるべきと思っている。現に村上市として県市長会の政策要望にこの制度創設を提案し、さらに北信越市長会からも全国市長会に同様の要望を行っている。

**問** 国では500億円を予算化し、森林環境税の創設に向け、モデル市町村を選定するとされているが、率

先して手を挙げないか。

**答** 全国の創設促進議員連盟の会長を持つ議会の優位性を存分に発揮すべき形で、至急検討していく。

**問** 中学校の部活の外部指導者を5地区の総合型地域スポーツクラブから派遣し、必要経費を手当とする仕組みを作ることはできないか。

**答** そのような仕組みができることはありがたい。地域のスポーツ教育を同クラブが支える仕組みは大切で、長く継続するには経営が成り立つことが必要。そのため予算付けも必要だと考える。

**問** 納沙布岬で北方領土問題を勉強してきた市内小学6年生が貴重な体験を発表したが、本市で現地を訪問する事業は取り組めないか。

**答** 若い感性を伸ばす機会は大切。機会提供には努めていきたい。

## 地方林業を救う森林環境税



川村敏晴 議員

# 災害に強い市街地を目指して

**問** 住宅密集地において既設の消雪パイプ井戸を、火災時に消防団のポンプが給水や防火水槽への補給および大災害時の雑用水として利用可能となる多目的消雪パイプ井戸に改良すべきではないか。

**答** 大規模火災の消火活動において、多様な水利は延焼を防ぐ意味から大変重要と考える。さまざまな条件をクリアし、多目的消雪パイプ井戸に改良して有効活用する等検討する。

**問** 日常生活用具給付等事業により高齢者、身体障害者世帯に火災警報器設置を積極的に促す考えはないか。

**答** 対象者世帯の申請に基づき火災



買い物困難者の解消を目指し配布された「さんぽくお届け電話帳」



本間善和 議員

警報器および自動消火器の給付を行っているが、今後未設置の世帯に対し、同事業の案内パンフレットを配布し、給付件数の増加に取り組みたい。

**問** 杉の間伐材を活用した防火水槽給水小屋を豪雪地に設置すべきではないか。

**答** 消防団員が減少している中、防火水槽の除雪作業軽減および杉の間伐材の活用面からも、中山間地のみならず市街地でも設置を検討する。

**問** 地域おこし協力隊の買い物困難者対策の業務内容は。

**答** 山北商工会の買い物便利帳掲載商店の配達範囲外への繋ぎ役と、買い物困難者世帯の見守りを実施していただきたい。また将来は、自家消費野菜の余剰分を活用した直売所、移動販売などの起業を目指していただきたい。

## 救急車の利用は適切に

**問** 毎年、救急車の出動が多くなっていると感じている。

都会では救急車をタクシー代わりに利用するといったことも聞けが、村上市でのこれまでの出動で問題があると思われるような事例があればお聞きする。

**答** 救急車の出動件数は年々増加傾向にある。しかしながらこの中には、ご自身で医療機関への受診が可能な方でも救急車を要請される場合もあり、こうした要請件数が多くなると、本当に必要なときに、救急隊の到着時間が遅くなるなど、助かるはずの命を救えなくなる

質



板垣千代子 議員



年々多くなっている救急車の出動

恐れがある。適切に救急車を要請していただきたいと考えている。

**問** 今後の除雪の対応について、今年は1月に入っても雪が降らず良い年だと思っていたが、1月半ばに入り大雪が降り、建設課には多くの苦情が入っていたように思う。私の方にもある市民から「デイサービスの車が停車している広い道のところまで行きたいが、家から車までは道が細く、車いすの自分はデイサービスの車まで行けない。何とか除雪をしてほしい」との電話があり、建設課に除雪対応していただいた。こうした事例はほかでもあると思うが、市の対応は。

**答** 道路の安全安心に関しては、市の責務である。冬期間前に除雪会議を行っており、介護事業者の業務確保も視野に入れ除雪に当たりたい。

# 無電柱化への推進計画は



平山 耕 議員

**問** 国では、昨年の12月に「無電柱化の推進に関する法律」が公布、施行された。今後、国では無電柱化推進計画を定め、推進に関する施策を総合的・計画的に実施していくとしている。

市では昨年、「歴史的風致維持向上計画」が国に認定され、その事業の推進には電線や電話線の地中埋設化は避けることができない課題である。「無電柱化」の推進計画を早期に定めるべきと考えるが。

**答** 無電柱化事業については、重点区域である旧城下町地区の市道9路線と県道1路線を検討しており、現在、現地状況と

無電柱化の方式や工法、整備手法等を調査している。その調査結果を基に関係機関と調整を図りながら事業化に取り組んでいく。

また、重点区域以外でも、維持すべき歴史的風致については、無電柱化の検討を進めたいと考えている。

**問** 29年に政策決定される予定の農業関連法案の中で、土地改良法の改正がある。これは農用地利用で集積の促進を図るため、農地中間管理機構が賃借権を取得した農用地を対象として費用負担や同意を求めないで基盤整備事業を実施できる制度を創設するものだが、本市で取り組む考えはないか。

**答** 地域農業の在り方について合意形成が重要。今後、県や土地改良団体と十分協議し、対応していく。



無電柱化を待つ歴史的風致重点区域(大町)



空手マットを使用した練習風景

**問** 東京2020オリンピック追加競技に「空手」が決定した。村上空手道研究会では、空手マットが大会のために必要であり、他団体が不要になったマットを無償で譲り受けて使用してきたが、現在は破損して練習に支障をきたし、大会には使用できない状況である。新潟県スポーツ少年団の大会が今年は下越地区で行われるが、このような実情についてどのように考えるか。

**答** 競技力向上には環境整備が必要ではあるが、今後の財政状況を踏まえて、スポーツ振興のための支援の在り方を含めて、計画的な支援に努

# スポーツ団体への支援を



山田 勉 議員

めるよう検討していきたい。

**問** 28年度末までの財政調整基金の残高と目的別基金残高を伺う。また28年度末見込みで一般会計の地方債の借り入れ状況を伺う。

**答** 財政調整基金は15億469万円、減債基金は3億1477万円となる。また、市債の残高見込みは、319億5531万8千円である。

**問** 本市の奨学金制度について、この制度を利用して勉学に励んでいることは大変意義深いものと考え、今後の事業の方向性を伺う。

**答** 市奨学金制度は452人の方が貸与を受けており、年間60人程度の方が利用している。来年度からは、卒業後市内にUターンされた奨学金の返還者には、その返還金の一部を支援する制度も立ち上げたい。

# 今後の村上市の観光戦略は

**問** 瀬波温泉のある宿泊施設の経営者が替わられたようだ。新政府上ではその経営者と懇談をしてきた。市長も面識があるとのことだが、感じたことや期待することなどはあるか。

**答** 大変積極的な方で、瀬波温泉や本市に対するさまざまな構想をお聞きし、本市としても、中国から大勢の観光客の皆さんが来られるのは、大変ありがたいことだと思っている。

**問** この社長は、旅館経営だけでなく、整体や日中友好国際支援センターという日本の独身男性に中国の女性を紹介する仕事もしており、本市に対してもいろいろな構想を描いて



紫雲の里(新発田市)で取り組むトラフグ養殖の様子

ているようだが、市長の考えは。

**答** そのようなビジネスのことについては知らなかった。ただ、中国人の女性が結婚を前提として日本で暮らすのであれば就業にも繋がり、それが認知されていけばありがたい。

**問** 新潟漁協岩船港支所の若手組合員がヒラメの活け越し神経締めを取り組みにおいて、いけすを作りたいとの意見があるが、その進捗を伺う。

**答** 漁協が事業主体となった設備導入に向けての協議が進められている。設備設置予定箇所の周辺が海でなく河川であるため、そこから海水をくみ上げる水が利用できるか課題である。このため、水質調査に支援を行うこととし、安全な海水がどの程度くみ上げられるか、その結果を基に、具体的な整備手法を新潟漁協岩船港支所と検討していく。



本間清人 議員

## 防災対策の推進と充実を

**問** 総合的な防災対策の推進と防災力の充実について伺う。

**答** 初動出動の増強、消防団との連携強化のため無線の共有、水利統制のための資料整備等を行っている。また、隣接する新発田、鶴岡、西置賜の各消防本部との消防相互応援協定などで要請体制強化を図っている。

**問** 都市計画用途地域の準防火地域の現状と今後の対応策は。

**答** 商業系用途地域を中心に延焼等防止目的として指定してきた。今後は必要に応じて見直しをしていく。

**問** 災害時の情報伝達手段



河村幸雄 議員

の整備状況は。

**答** 住宅用火災警報器の設置状況は73%。整備状況は、屋外拡声子局を226基、戸別受信機と告知端末を合わせ1万7845世帯、全世帯の76.2%が設置済みである。

**問** ふるさと納税の受け入れと返礼の状況は。

**答** 本年1月末の寄附金の受け入れ状況は7709件、1億8983万7502円のご寄附をいただいている。返礼品の種類別のベスト5は上位から鮭、米、村上牛、地酒、瀬波温泉旅行券の順となっている。

**問** 目標を高く設定して、県内一の納付額を目指してもらいたい。

**答** 29年度予算で寄附金を2億円計上。お礼品カタログの刷新やインターネット上の宣伝、リピーターの確保、観光宣伝に努めたい。



市民の安全と安心を確保する「消防救急デジタル無線システム」

# 親子で過ごせる屋内施設を



姫路 敏 議員

**問** 村上市には、休日親子で過ごせる屋内施設が少ない。施設建設も含め環境整備を行う考えはないか。

**答** 市の第2次総合計画では、子どもが安全に遊べる場所や、親子が集える場所づくりを進めることとしている。今後は「雨天や休日に家族で遊びに行ける場所がほしい」という保護者の声にも応えられるように複合的施設の設置も検討していく。

**問** 村上市の屋内施設である児童館と子ども支援センターの利用は年間3万人前後である。そこで昨年7月に開設した新発田駅前のイクネスはたこどもセンターを視察

してきたが、なんと7カ月で5万人を超える人が利用している。そのうち24%は新発田市以外から来ており、村上市からも大勢来ているとの説明があった。村上市にもこのような屋内施設が必要であることを実感した。そこで、31年に瀬波小学校と上海府小学校が統合し、上海府小学校が閉校になる。それを機会に大型の子どもセンターとして親子が過ごせる場所を、上海府小学校跡地に開設してみてはどうか。

そして、一緒に上海府連絡所やまちづくり協議会・区長会・老人会の拠点として活かしてみてはどうか。

**答** 良い発想だと思う。まずは上海府地区にお住まいの方々に意見を頂きながら調整し、10年後、20年後を見据えた上で取り組んでいきたい。



将来、子どもセンターとして活用が期待できる上海府小学校



三面小学校の統合先となる小川小学校

**問** 候補地の地質調査のためのボーリング調査はいつ行われるか。

**答** 厚生連からは、「未定ではあるが、これからの各種作業工程からも早めのボーリング調査の実施を検討中である」と伺っている。

**問** 地権者との話し合いは進んだか。

**答** 周辺道路整備における測量業務等での立入りについてのご理解と、移転新築事業に対し、ご理解とご協力をお願いした。

**問** 設計業者が決まり、基本計画・基本設計は実施設計へと進んでいるか。

**答** 基本計画は本年ごろの完成、基

本設計は夏ごろの完成を目指している。その後、実施設計に着手することである。

**問** 開院日は32年10月を予定しているが、着工はいつか。

**答** 着工は、30年の夏ごろを予定し、工事の完了は32年夏ごろを目指していることである。

**問** 村上市の財政支援は20億円としているが、病児・病後児保育と救急ワークステーションの設置は。

**答** 現在厚生連と協議を進めているが、どちらも市の施設として、20億円とは別の予算で病院内に設置する。

**問** 小学校の統合による受け入れには、どのような問題があるか。

**答** 31年4月には小学校と中学校、32年4月には小学校で統合が計画されているが、統合先の学校で安心して学べるよう教育環境の整備を進めたい。

# 病院建設は進んでいるか



鈴木いせ子 議員

# 柏尾猿沢避難路の整備を

**問** 本市の津波災害該当地区での防災訓練など防災対策の現状を伺う。

**答** 全市で実施する防災訓練に際し、津波を想定した避難場所への避難訓練や情報収集と伝達訓練などを実施している。さらに、津波浸水想定区域において、避難路の整備や避難誘導看板の設置等を行っている。

**問** 災害復旧の前提となる被災後の被害想定はあるか。

**答** 10年に県が実施した「新潟県地震被害想定調査」が直近の調査。なお、震源地や津波の浸水想定区域が見直され、26年度に「村上市津波ハザードマップ」を作成した。その後、



冬は積雪、雪崩により通行止となり通年通行が待たれる林道柏尾猿沢線



鈴木好彦 議員

国の調査を基に、県の策定を受け、本市の浸水想定区域に影響を及ぼす可能性があるので、被害想定調査はその後に行う予定である。

**問** 津波の被害想定として、上海府地域から南北両方向にもアクセスできなくなったときのために、林道柏尾猿沢線を整備する考えはないか。

**答** 沿岸約30kmの間、各集落に国道7号までのアクセス路を設置しなければならず、それよりも臨機応変に対応することが大事で、防災より減災の視点で対応していきたい。

**問** 昨年9月定例会以降、通学路の安全確保について具体的取り組みは、  
**答** 昨年の事故現場への押しボタン式信号機の設定は、通行量等の理由から、今回は舗道付近の路面標示、停止線や横断歩道の再塗装を早急に実施する予定とのことである。

## 林業振興で本市の活性化を

**問** 村上市は主に終戦後や高度経済成長期に伐採された跡地に植林が進められてきた。これらの造林地は、保育段階を過ぎ成林となっており、主伐による木材利用が可能である。

民有林はもとより市行造林もその例外ではなく、本格的な市産材の有効利用時期になっている。そこから発生する収益が森林所有者や林業者に還元されて森林整備は促進され、持続可能な山村地域が活性化すると思うが、市長の考えはどうか。

**答** 本市は戦後の復興期に大量に植林された人工林の多くが伐採期を迎え



大滝久志 議員



主間伐の推進で山村地域の活性化を

る。市行造林も含め、森林の一部を長伐期施業に移行するなど、健全で持続可能な林業にすべく対策を講じている。

しかし林業は多くの困難があり厳しい状況にある。この課題を克服して森林所有者に利益を還元し、伐採した跡地への再造林する林業サイクルが可能となるよう、林業の収益性を高めていかなければならない。

**問** 既設の林道があっても使えない。間伐や主伐による木材搬出に耐える林道は少ない。林業の活性化には既設林道の改良が必要と思うがどうか。

**答** 間伐施業や主伐をするには路網の整備は欠かせない。

**問** 市行造林の主間伐の施業に森林施業プランナーを利用してはどうか。  
**答** 利用に向けて検討する。

# 大町・小町の今後は



佐藤重陽議員

**問** 都市計画道路泉町羽黒町線については「歴史的風致維持向上計画」を策定し、29年度より事業化のため今定例会に予算が提案された。29年度から37年度にわたる事業計画だが、29年度は「歴史的風致形成建造物保存事業補助金」、「建造物外観修景事業補助金」、合わせて959万8千円の新規事業である。市は事業化に向け具体的なスケジュールづくりに着手すると言ってきた。併せて、沿線住民の皆さんに「歴史まちづくり法」による整備計画に理解を得ながら計画を進めるとしているが、ここに至るまでの経過と今後の事業の進め

方について伺う。

**答** 27年度から策定に着手した計画だが、昨年10月に国の認定を受け、29年度から事業に着手するものである。事業の進め方は、現在、事業効果の評価を国へ報告するための基礎調査や無電柱化を実施するための調査を3月末までに取りまとめる。その後、新潟県や関係機関と協議をするとともに、住民に説明し事業実施等の希望を伺い、具体的な事業スケジュールを作成する。

**問** 町屋の防災、まちづくり、商店街の活性化の観点から、大町にある旧ウオロク跡地など空き地をトイレ、避難施設など公共用地として利活用を図れないか。

**答** 防災の観点では緩衝帯となるが、施設整備において理解できる。計画の進捗の中で検討していきたい。



計画地内の空き地(大町)



保護者の方と協力して整備された塩野町小学校の学校林

**問** 「基幹林道岩船東部線」が今春に着工予定である。県の今年度予算は1億2千万円とのことだが、村上市として、起工式についてどのような協力を考えているか。

**答** 村上地域振興局が工事発注を行うものであり、起工式については県の意向を確認した上で協議していきたいと思う。

**問** 戦後植林された「学校林」について、今後予想される学校の統廃合との関連で、どのようなものか。

**答** 今後、該当校が統廃合された場合、学校林も引き継がれることになる。

## 公共事業の均衡ある配分を



小田信人議員

問 席

**問** 朝日地区では塩野町小学校と三面小学校が該当校となるが、統合の時期と「学校林」の伐採時期が重複している。伐採して木材を販売した場合、売買代金はどうなるのか。

**答** これまで市が2分、地域が8分として管理してきた。今後、関係者の方々とよく協議をして進めていきたいと思う。

**問** 小規模な建設業者に、平等に恩恵が得られる機会を与える意味で、各地区の公共事業に均衡ある予算配分は考えられないか。

**答** 小規模な建設業者に配慮して、修繕的な工事も含め、早期発注に取り組んでいるところである。  
また、工事の発注規模にも配慮し、地元企業の受注機会の増大が図られるよう努力しているところである。

# 病院の医師確保は万全か

**問** 村上市の基幹病院として厚生連村上総合病院の役割は非常に大きいものがある。32年の移転開院を目指して、病院側として本市の医師確保に向けた取り組みを伺う。

**答** 村上総合病院での医師確保については、新潟大学に医師派遣依頼を行っている。県のドクターバンクや民間の紹介業者等を通して医師の確保を継続的に実施されている状況と伺っている。本市の取り組みとしては、県や新潟大学医学部への要望活動を継続して実施するとともに、29年度に医学生の修学資金貸与制度の創設を目指し、現在、地元医師会



29年度に実施される新病院へ繋がる幅員16mのアクセス道路整備(三面集落から撮影)



長谷川 孝 議員

市内医療機関、高等学校等から実態把握や意見集約等を行いながら、制度設計を進めている。

**問** ある民間の新潟県の医師常勤求人数は285人にも達し、新潟県の医師不足傾向が強く、その中でも本市を含む下越医療圏は特に深刻となっている。村上総合病院の新病院開院時の診療科は現在の倍近くを予定しているが、医師確保に向けて今すぐ対応するべきではないか。

**答** 限りある医師を全国で取り合っている状況であり、いろいろな仕組みを今、進めなければならぬ。医学生への修学資金貸与制度の創設に踏み切ったのもその一つである。県や新潟大学医学部も開院に向け医師確保のモチベーションをあげていただいているので、なお強く発言して計画どおりの医師の確保に取り組む。

## 業務量の客観的な検証を

**問** 人事評価制度の運用にあたっては、どのような認識か。

**答** 人事評価を行うこと、評価を任用や給与等に活用することは、法律に明記されたものであり、評価に基づいた処遇は適正かつ公正に行われるべきものと認識している。

**問** 人事評価制度や定員の適正化に当たって、客観的な業務量の検証や把握をされたか。

**答** 各課の業務量を人員に換算する等の調査は行っていない。これまで人口減少対策など新たな業務に対して必要な人員配置に努めており、現時点の職員配置等を基に調整した。



渡辺 昌 議員



地域まちづくり組織・活動発表会「地域づくり自慢大会」

**問** 現在の職員数が今後5年間維持されるが、組織改編の計画は。

**答** 地場産業や地域経済の活性化への対応のための見直しを、来年4月を目標に進める予定である。

**問** 各地域のまちづくり協議会の結成からまもなく6年目となるが、課題等もあるのではないか。

**答** 役員の後継者不足、参加者の固定化が生じている。現在はイベント的な事業が多いが、地域の課題解決のための取り組みを始めている協議会も見受けられる。

**問** 今後の協議会やその活動に対して、市の果たすべき役割は。

**答** 自分たちが住む地域をみんなで創り上げていく機運を盛り上げ、市民の方が主体を持って参画する協議会として、今後も継続して活動できるように市が支援していく。

# ブランド米に「新之助」を



木村貞雄議員

**問** 新潟の新しい米「新之助」の岩船米としての進め方は。

**答** 県としては、コシヒカリ以外の品種のトップクラスとして「新之助」を売り出したいとしている。

作期分散もでき、コシヒカリ並みかそれ以上の収入が期待できることから、市としても推進したい。一等米でない「新之助」として出荷できないなど、県の統一した規格の中で取組生産者と連携を密にし、進めていきたいと考えている。

**問** 今まで岩船米の「コシヒカリ」については、一等米比率が一般新潟米よりも低く品質を落としたこ

ともあった。

新之助については、今年はデビュー戦で、どうしても勝利しなければならぬ。最初が一番大切であることから、研究会の下で栽培する三十数人の期待がかかっている。品質管理についての指導はどのようにしているのか。

**答** 新之助研究会を立ち上げており、生産工程管理や、栽培管理をきちっとしたものを作っていく生産体制で対応している。

**問** 人口減少対策で、各集落に「おせっかい屋さん」を配置し、本格的に婚活事業を進めてはどうか。

**答** 今のところ考えていないが、県の推進するICTを活用した婚活サポートや、今後導入予定である集落支援員の業務の一つとして活用できないか検討していきたい。



「新之助」の現地調査



地域を支える家族農業振興を

**問** 市の農業が低米価で危機的状況に立ち至っている。戸別所得補償制度の復活を市としても国へ要望すべきではないか。

**答** 農家の所得安定には米作付計画と販売戦略、地域的施策が必要と考え、制度復活の要望は考えていない。

**問** 家族経営を否定するアベノミクス農政は、日本農業を根底から破壊する戦後最悪の農業破壊農政ではないか。

**答** 政府は、生産コストを下げ農業構造改革で成長産業化を図るとしている。具体的施策を基に生産者、生産団体とともに取り組んでいく。

## 戸別所得補償制度の復活を



竹内喜代嗣議員

**問** 2014年は、国際家族農業年だった。地域を支える小規模家族農業が地球を救うと言われている。小規模家族農業振興をはかるべきではないか。

**答** 地域を支えていると認識している。地域性を考慮した施策を講じていくことが必要と考える。

**問** 子どもの貧困率は、全国で6人に1人と言つことだが村上市の貧困率を伺う。

**答** 把握していない。

**問** 保育園では産休明けの乳児を預かってもらえるか伺う。

**答** 産休明けの生後2カ月の乳児は、安全面や受け入れ態勢の面から受け入れは行っていない。

**問** 県内で水道料金を統合していない自治体数を伺う。

**答** 本市以外に2市1町である。

# 委員会の審査報告

◎は委員長  
○は副委員長

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、広報特別委員会で作成したものを掲載しています。

## 総務文教常任委員会所管分

- ◎鈴木いせ子 ○鈴木 好彦
- 小杉 武仁 木村 貞雄
- 稲葉久美子 大滝 国吉
- 三田 敏秋 佐藤 重陽
- 河村 幸雄

◆村上市過疎地域自立促進計画の変更について

問 変更の理由は。

答 29年度の新規5事業を含めるため事業計画の変更が必要となるものです。

◆村上市職員定数条例の一部を改正する条例制定について

問 全体で何人になりますか。

答 813人です。現在数は761人です。

◆村上市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正す

る条例制定について

問 厚生労働省のイクボス宣言(※)を受けての改正ですか。

答 29年1月1日付けの法改正によるものですが、該当者がいなかったので、このたび条例改正するものです。

◆村上市学校給食共同調理場

# 通院者の新潟への足スタート

設置条例の一部を改正する条例制定について

問 共同調理では、小学生と中学生の摂取栄養量の違いに、どう対応するのですか。

答 中学生には増量することに対応するほか、メニューを付け足すこともあります。

28年度 一般会計補正予算

【歳入】

・使用料及び手数料

問 郷土資料館・若林家住宅

の入館料減少の理由は。

答 観光バスの立寄台数が減っていること、入館料がかからない町屋の散策等に移っているからと思われる。

問 入館者を増やす対策として、物産品の展示販売を増やしてはどうですか。

答 今後検討します。

29年度 一般会計予算

【歳入】

・地方交付税

問 特別交付税が27年度実績

に対し下回っていますが、その理由は。

答 最終的には前年度決算を下回らないと思いますが、現実なところで計上しました。

・県支出金

問 電源立地地域対策交付金は保育園の人件費に充てられていますか、今後同様ですか。

答 合併時にも議論のあったことですが、検討して何らかの形で地域に反映したいと思っています。

【歳出】

・総務費

問 高速のりあいタクシーは通院以外も利用できますか。

答 通院以外も利用可能です。

問 朝日庁舎改修後、商工会と社会福祉協議会が入居すると聞いていますが、機構改革も見据えていることですか。

答 支所の在り方を検討しているものではありません。

・消防費

問 女性団員で構成される消防団広報指導分団について、市民へ周知するような入団式

等は考えていますか。

答 火災予防運動の機会に辞令交付式を考えています。

・教育費

問 中学校施設改修経費2250万円の内訳は。

答 平林中学校のキュービクル改修、村上第一中学校の防火シャッター改修と各校トイレの改修です。

問 中学生に対する英語検定料の補助について、生徒数の45%に交付できませんか。

答 4級以上で年1回の受験



新潟の病院に通院する人の足として運行を開始した高速のりあいタクシー

を想定し、全生徒数の45%に当たる616人分を計上しました。

◆条例制定 1件

◆条例改正 6件

◆市有財産の譲与 3件

28年度 特別会計補正予算

◆情報通信事業特別会計

29年度 特別会計予算

◆土地取得特別会計

◆情報通信事業特別会計

以上を中心に審査しました。

# 市民厚生常任 委員会所管分

◎尾形 修平 ○渡辺 昌  
 板垣 一徳 板垣千代子  
 小林 重平 山田 勉  
 竹内喜代嗣 長谷川 孝  
 小杉 和也



市内に約2060基あり、安全通行に大きな役割を果たしているカーブミラー

## ◆公の施設に係る指定管理者

の指定について（あらかじめ病児保育センター）

**問** 受入れの定員が4人ですが、職員の体制は。

**答** 仕様書では看護師、保育士、事務員が各1人となっています。

**問** 指定管理料の金額では、それらの人件費を賄えないの

ではないですか。

**答** 指定管理者の共同事業体では、研修を兼ねた職員を派遣することによって、その分の人件費は含まれていません。

## 28年度一般会計補正予算

・総務費

**問** マイナンバーカードの交付状況は。

**答** 3月現在、対象となる方は6万2444人で、マイナンバーカードの交付は

**問** 防犯灯のLED化によって、電気料金はどのくらい節約になるのですか。

**答** LED灯は従来の蛍光灯の約46%の電気料金で、29年度は800灯のLED化を予定し、

それに伴って年間128万円ほど安くなります。

# 学童支援員の待遇に考慮を

4384枚となっています。

## 29年度一般会計予算

【歳出】

・総務費

**問** カーブミラーに関わる予算が前年度より大幅増となっていますが、その詳細は。

**答** ミラーや取り付け金具の購入費、修繕費、移設や新設による工事費などによるもので、特にカーブミラーの設置要望が増えているため、それに対応するものです。

・民生費

**問** 学童保育所を利用する児童が増え、利用時間も長くなっています。支援員の待遇改善へ、小学校の介助員との兼務は考えられませんか。

**答** 学童支援員の待遇については、今後検討していきます。また、介助員の勤務時間を延長して支援員を兼務することが可能か検討し、本人の意向なども確認した上で考えたい

きます。

**問** あらかじめ保育園の定員が10人増員されますが、その理



学童保育のニーズが高まる中、支援員の確保が難しくなっています（朝日学童保育所）

由は。

**答** ここ数年の入園状況や今後の園児数の動向等を考慮し、10人の増員としました。

**問** 児童虐待への相談件数、また、その相談への対応はどのようにされていますか。

**答** 27年度に106件の相談がありました。福祉課の家庭相談員が対応し、社会福祉士の職員と同行訪問等を行っています。また、新発田児童相談所とも連携しています。

**問** 臭気検査の状況は。

**答** 鶏舎5カ所と豚舎9カ所で年2回、場所によっては3回実施しています。

**問** 畜舎からの臭気が問題となっており、年に2回や3回の検査では不十分ではないですか。

**答** 以前より検査箇所や回数を増やしています。状況を見ながら、必要があればさらに検討します。

◆規約の変更 1件

◆条例制定 1件

## 28年度特別会計補正予算

◆介護保険特別会計

## 29年度特別会計予算

◆国民健康保険特別会計

◆後期高齢者医療特別会計

◆介護保険特別会計

以上を中心に審査しました。

# 経済建設常任 委員会所管分

◎川崎 健二 ○小田 信人  
川村 敏晴 本間 善和  
平山 耕 本間 清人  
姫路 敏 大滝 久志

## 28年度 一般会計補正予算

### 【歳出】

・農林水産業費

**問** 森林作業道整備事業補助金の内容は。

**答** 国・県で68%（国51%、県17%）の補助率で、そこに市が22%を付け足し、合計9割の補助で実施するものです。  
**問** 村上牛の認定件数が見込みより少なかったため村上牛生産振興対策事業補助金を減額補正することですが、村上牛の生産状況は。

**答** 素牛が高値でも肥育頭数は平行線ですので、生産意欲の現れととらえています。

・土木費

**問** 28年度の除雪費はどのくらいになりますか。

**答** 除排雪委託料で約6億5

千万円となる見込みです。

## 29年度 一般会計予算

### 【歳入】

・県支出金

**問** 林地台帳整備事業補助金の80万4千円は、一般質問の市長答弁とかけ離れ、少なすぎるのではないですか。

**答** これから始まるもので、県からのデータ、森林簿、固定資産関連データ等をシステム統合するための補助金です。

# 使いやすいリフォーム助成を

### 【歳入】

・農林水産業費

**問** ヒラメの活け越し神経締め等で活用する海水設備装置のための水質検査費の内容は。

**答** 現在、瀬波温泉から海水を運んでいます。維持コストの点から港の川底50cmから海水をポンプでくみ上げる計画で、漁協と共同で水質調査を行うものです。

**問** 畜舎の防臭資材の内容は。

**答** 神林地区の4畜舎に4カ月間、試みとして、臭い軽減のためのミスト材を購入し、

使用していただいて防臭に取り組むものです。

**問** 朝日まほろば夢農園の応募資格は市外在住者が対象ですが、現実的に近くに住んでいないと作業できないと思えます。活性化のため市内在住者も対象にしてはどうですか。

**答** 区画が埋まらなければ学校や団体にお願ひして、それでも埋まらなかつたら公募したいと思えます。今後の在り方は、応募の状況を踏まえて対応していきます。



住宅リフォームの例

**問** 就業支援事業補助金400万円は、4人分で、1人100万円を5年間ということですが、補助金の交付条件は。

**答** 国の助成対象は原則45歳未満までですが、市では61歳未満まで幅を広げ、また、国では新規事業でなければ該当しないようになっていますが、それらを緩和して意欲的な取り組みをする方を育てていきたいと思っています。

・商工費

**問** 住宅リフォーム事業につ

いて、4月からの受け付けと なっていますが、冬場の仕事に利用できる仕組みを考えてほしいという業者の声を聞き

ますが、対応できません。 **答** 4月から受け付け開始となりますが、一旦終了したら関係者と懇談し、「生の声」を聞いてから、対応について考えていきます。

**問** 海外プロモーション活動

について、台湾、韓国を予定しているとのことですが、中国は考えていないのですか。 **答** 台湾は昨年、観光協会です。韓国も、新潟空港への到着時間が早くなったことで、瀬波温泉の入込みが増えてい

ます。中国はこの実績を見たと考えていきます。

**問** 村上木彫堆朱後継者育成支援事業補助金の詳細は。

**答** 堆朱事業協同組合に新たに3人を雇用してもらう経費で、月額12万円です。そのほか技術指導や研修材料費助成、また市外から来られた方の場合は家賃助成を行います。

◆請願 2件

◆市道路線の認定 1件

◆市道路線の変更 1件

◆市道路線の廃止 1件

◆条例改正 2件

## 28年度 特別会計補正予算

◆蒲筍スキー場特別会計

◆下水道事業特別会計

◆簡易水道事業特別会計

## 29年度 特別会計予算等

◆蒲筍スキー場特別会計

◆下水道事業特別会計

◆農業集落排水事業特別会計

◆簡易水道事業特別会計

◆上水道事業会計

以上を中心に審査しました。

# 平成29年第1回定例会 議決結果

平成29年第1回定例会が、2月21日から3月17日までの25日間の会期で開催され、市長提案47件、議会側提案の請願2件、議員発議3件を議決し、閉会しました。

なお、議員発議3件のうち1件は、定例会最終日、議員からの「農業者の所得支援を求める意見書の提出について」を提出する動議によるもので、1件は、当市議会として初の政策条例の制定に向け検討してきた「村上市地酒等による乾杯を推進し村上の食文化を振興する条例制定について」（詳細は20ページ参照。）を提出する議員発議です。

## 〔議会関係〕

議案番号	事 件 名	結 果	表 決
請願第1号	碓石海岸の浸食防止対策の推進を求める請願	採択	全会一致
請願第2号	(仮称) 新村上総合病院建設設備工事に関する請願書	採択	全会一致
議員発議第1号	公的年金の毎月支給を求める意見書の提出について	原案可決	全会一致
議員発議第2号	村上市地酒等による乾杯を推進し村上の食文化を振興する条例制定について	原案可決	全会一致
議員発議第3号	農業者の所得支援を求める意見書の提出について	原案可決	全会一致
議第1号	村上市固定資産評価審査委員会委員の選任について(村山 誠:再任)	原案同意	全会一致
議第2号	村上市固定資産評価審査委員会委員の選任について(大滝 達夫:再任)	原案同意	全会一致
議第3号	村上市固定資産評価審査委員会委員の選任について(武士俣 馨:再任)	原案同意	全会一致
議第4号	村上市固定資産評価審査委員会委員の選任について(高橋 賢一:再任)	原案同意	全会一致
議第5号	村上市固定資産評価審査委員会委員の選任について(斎藤 誠:再任)	原案同意	全会一致
議第6号	村上市教育委員会委員の任命について(本岡 元子:再任)	原案同意	全会一致 (無記名投票)
議第7号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(田島 一郎:再任)	原案同意	全会一致
議第8号	専決処分の承認を求めることについて(専第1号 平成28年度村上市一般会計補正予算(第5号))	原案承認	全会一致
議第9号	平成29年度村上市一般会計予算	原案可決	賛成多数
議第10号	平成29年度村上市土地取得特別会計予算	原案可決	全会一致
議第11号	平成29年度村上市情報通信事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議第12号	平成29年度村上市蒲萄スキー場特別会計予算	原案可決	全会一致
議第13号	平成29年度村上市国民健康保険特別会計予算	原案可決	賛成多数
議第14号	平成29年度村上市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	賛成多数
議第15号	平成29年度村上市介護保険特別会計予算	原案可決	賛成多数
議第16号	平成29年度村上市下水道事業特別会計予算	原案可決	賛成多数
議第17号	平成29年度村上市集落排水事業特別会計予算	原案可決	賛成多数
議第18号	平成29年度村上市簡易水道事業特別会計予算	原案可決	賛成多数
議第19号	平成29年度村上市上水道事業会計予算	原案可決	賛成多数
議第20号	村上市過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決	全会一致
議第21号	村上市一般職の任期付職員の採用等に関する条例制定について	原案可決	全会一致

議案番号	事 件 名	結 果	表 決
議第22号	村上市個人情報保護条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第23号	村上市職員定数条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第24号	村上市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第25号	村上市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第26号	村上市の特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第27号	村上市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	賛成多数
議第28号	村上市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第29号	村上市集落集会所施設条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第30号	村上市学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第31号	市有財産の譲与について(高根活性化センター)	原案可決	全会一致
議第32号	市有財産の譲与について(堀野集会所施設)	原案可決	全会一致
議第33号	市有財産の譲与について(布部集会所施設)	原案可決	全会一致
議第34号	胎内市、新発田市、村上市、関川村し尿処理に関する事務委託に関する規約の変更について	原案可決	全会一致
議第35号	村上市男女共同参画計画策定委員会設置条例制定について	原案可決	全会一致
議第36号	公の施設に係る指定管理者の指定について(あらかわ病児保育センター)	原案可決	賛成多数
議第37号	市道路線の認定について	原案可決	全会一致
議第38号	市道路線の変更について	原案可決	全会一致
議第39号	市道路線の廃止について	原案可決	全会一致
議第40号	村上市農村公園条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第41号	村上市河川管理条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全会一致
議第42号	平成28年度村上市一般会計補正予算(第6号)	原案可決	賛成多数
議第43号	平成28年度村上市情報通信事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議第44号	平成28年度村上市蒲萄スキー場特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全会一致
議第45号	平成28年度村上市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	全会一致
議第46号	平成28年度村上市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	全会一致
議第47号	平成28年度村上市簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	全会一致

## 各議員の賛否

議案審議結果のうち、賛否が分かれた等の網掛けの議案について、議員の賛否公表します。

◎：会派の代表者 \*：会派の会計責任者

議案番号	鷺ヶ巣会							新政村上					清流会				市政クラブ	高志会		日本共産党		賛否結果 賛成 反対							
	◎板垣一徳	*渡辺昌	大滝国吉	小田信人	鈴木いせ子	本間善和	河村幸雄	◎長谷川孝	*大滝久志	佐藤重陽	山田勉	木村貞雄	姫路敏	本間清人	◎川崎健二	*平山耕	※1三田敏秋	小林重平	鈴木好彦	◎川村敏晴	*小杉和也		◎尾形修平	*小杉武仁	◎竹内喜代嗣	*稲葉久美子	板垣千代子		
議第9号	○	○	○	○	○	○	○	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	-	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	2
議第13号	○	○	○	○	○	○	○	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	-	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	2
議第14号	○	○	○	○	○	○	○	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	-	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	23	1
議第15号	○	○	○	○	○	○	○	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	-	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	2
議第16号	○	○	○	○	○	○	○	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	-	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	2
議第17号	○	○	○	○	○	○	○	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	-	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	2
議第18号	○	○	○	○	○	○	○	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	-	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	2
議第19号	○	○	○	○	○	○	○	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	-	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	2
議第27号	○	○	○	○	○	○	○	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	-	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	2
議第36号	○	○	○	○	○	○	○	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	-	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	2
議第42号	○	○	○	○	○	○	○	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	-	◎※2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	22	2

※1：議長は地方自治法第116条の規定により表決に参加しません。

※2：欠席したため表決に参加していませんでした。

## 請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員	付託委員会	審議結果
碓石海岸の浸食防止対策の推進を求める請願	碓石自治会 総代 板垣 昭一	板垣 一徳	経済建設 常任委員会	採 択
(仮称) 新村上総合病院建設設備 工事に関する請願書	村上管工事業協同組合 代表理事 山田 淳一	尾形 修平	経済建設 常任委員会	採 択

※請願は本会議で採決が行われ、全会一致または賛成多数の場合、採択されます。

## 陳情の審査結果

件名	陳情者	所管委員会	審査結果
農業者戸別所得補償制度の復活を もとめる陳情	農民運動新潟県連合会 会長 鶴巻 純一	経済建設 常任委員会	意見の 一致を 見なかった

※陳情は所管常任委員会の協議会で審査され、常任委員全員の了承で、願意了承となります。

## 意見書

公的年金の毎月支給を求める意見書  
農業者の所得支援を求める意見書

以上の意見書が、第1回定例会で可決され、関係行政庁に送付されました。

## 固定資産評価審査委員会委員が決まりました

次の方が議会で同意されました。(任期：29年5月20日～32年5月19日)



むらやま まこと  
村山 誠 氏



おおたき たつお  
大滝達夫 氏



ぶし またかお  
武士俣馨 氏



たかはし けんいち  
高橋賢一 氏



さいとう まこと  
斎藤 誠 氏

## 教育委員会 委員が決まりました

次の方が議会で  
同意されました。  
(任期：29年5月21  
日～33年5月20日)



ほんくず ちとこ  
本國元子 氏

市議会では、定例会の会期が終了すると各常任委員会に分かれ、行政課題など各所管事項について調査しています。

# 市政をチェック!

## 閉会中事務調査



村上市内の各地で活動している地域おこし協力隊の現況について、山北・朝日地区を拠点に活動している3人の隊員から、それぞれの活動の成果や課題、問題点の説明を受けました。特に、隊員が配属地区住民の期待に応えようとするあまり、本来の活動が制限された事例の報告がありました。

新たな隊員募集時には、明確な目的を双方が認識できる対策が望まれます。

**総務文教常任委員会**  
地域おこし協力隊と  
地元の協働



改修で定員増となった山辺里保育園を視察しました。核家族化や母親の就労により、未満児保育のニーズが年々高くなっています。母親の育休明けの職場復帰に伴う年度途中の入園希望も多くありますが、保育士の体制が整わないために、全てに対応できない状況です。

安心して子育て・就労ができる保育環境の整備には、保育士の確保が大前提であり、一層の待遇改善が必要であると認識しました。

**市民厚生常任委員会**  
保育士確保が  
大きな課題



新潟北部地域林業振興協議会の皆さまと、林業の現状と今後の展望について懇談しました。木材需要の減少と価格の低迷により、伐採後の植林や下草刈りなどの経費を捻出するのが困難な状態である現状と、林業の産業化について話し合いました。

注目されている「森林基幹道岩船東部線」の29年度着工や、森林環境税（仮称）の創設に光が見えてきた今日、停滞してきた林業振興に希望が見えてきたように感じました。

**経済建設常任委員会**  
林業振興の  
取り組みに注目

委員会と調査日	調査日	調査事項
総務文教常任委員会	1月31日	地域おこし協力隊員の活動状況等の現況調査
市民厚生常任委員会	1月30日	山辺里保育園改修増築後の現況調査と保育士との意見交換
経済建設常任委員会	1月25日	厚生連村上総合病院の移転新築に伴う周辺整備について（村上管工事業協同組合との意見交換） 地元林産業の現状について（新潟北部地域林業振興協議会との意見交換）

# 地元食文化の振興を目指し、乾杯！

## 「村上市地酒等による乾杯を推進し 村上の食文化を振興する条例」が制定されました。

地酒による乾杯の習慣を広めることで本市の活性化を目指す「乾杯条例」。村上市議会では、条例制定を目指し、「乾杯条例検討プロジェクト会議」を設置して検討を重ね、3月定例会の最終日、条例案が全会一致で可決され、4月1日から施行されました。

通称「鮭・酒・人情のまち村上市乾杯条例」です。市民の皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。



3月25、26日のSL村上ひな街道号歓迎イベントに合わせ、法被姿の市議会議員が地酒等を振る舞い、乾杯しました

### 目的は？

「本市で製造される地酒等による乾杯の習慣を広めることにより、地酒等および農林水産物、郷土料理、物産等の市内で生産、加工または調理されたものなどの地域資源を生かした食文化を振興し、もって本市の地域経済の発展に寄与する」ことを目的としています。（条例第1条）

### 特徴その1

「地酒等」とは、「日本酒、ワイン、どぶろく、お茶、山ぶどうジュース等本市で製造される飲料」、つまりノンアルコール飲料も含め、市内で製造される飲み物と定義しています。（条例第2条）

### 特徴その2

地酒等による乾杯の推進においては、「個人の嗜好や飲酒に対する個人の意思を尊重するよう配慮する」こととしています。これは、何を

飲むかは個人の自由であり、飲酒が原因でさまざまな問題が発生していることも事実であるため、飲酒の強要などが無いよう、楽しく乾杯が行われるよう呼びかけるものです。（条例第7条）

### 特徴その3

条例第8条では、「宴席、会食等においては、残さず食べるよう、しっかり食べきるよう努める」、つまり、国でも取り組みを始めた「食品廃棄物の削減」への努力を求めています。

まだ食べられるのに捨てられてしまう食品（食品ロス）を減らすことは、残飯の片付けやごみ処理経費の削減のほか、資源を大切にするとともに、生産者や提供者への感謝の心、自然への畏敬や地域を大切にできる心の醸成につながることが期待されます。

## 請願・陳情の締め切りは 「定例会招集日の14日前」です。

- 1 請願書・陳情書の提出締切日は、定例会招集日の14日前（祝祭日の場合はその前日）の正午までです。

◎受付場所：市役所4階 議会事務局  
（郵送の場合は締切日必着）

- 2 請願書には、次の事項を記載し、請願者が押印してください。
  - ・請願の趣旨
  - ・提出年月日
  - ・請願者の住所・氏名（法人の場合は、その名称および代表者名）

- 3 請願の場合は、紹介議員が必要となります。請願書に1人以上の市議会議員の署名または記名押印が必要です。陳情の場合は、紹介議員の署名等は不要ですが、市議会本会議での採決は行いません。

※詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

## 平成29年 第2回定例会のお知らせ(予定)

5月30日(火)	請願・陳情の提出期限（正午まで）
6月13日(火)	定例会初日（本会議）
15日(木),16日(金) 19日(月),20日(火)	一般質問（本会議）
21日(水)	総務文教常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
22日(木)	市民厚生常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
23日(金)	経済建設常任委員会 一般会計予算・決算審査特別委員会
27日(火)	一般会計予算・決算審査特別委員会
30日(金)	定例会最終日（本会議）

\*この日程は変更されることがあります。  
\*開会時間は午前10時です。